

2016年6月8日

「ヤクルトレディ」の新シリーズCM第2弾がスタート！

第1弾CMの設定を引き継ぎ、ドラマ仕立ての演出でヤクルトレディの魅力を表現

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸 孝成）では、当社契約タレントを起用した「ヤクルトレディ」の新シリーズCM第2弾「いい毎日とヤクルトさん 家庭と仕事」篇（15秒、30秒）、「いい毎日とヤクルトさん 社会貢献」篇（15秒）を6月13日から放送します。

第2弾CMでは、第1弾CMにも登場した伊東四朗さんと藤井美菜さんに、「家庭と仕事」篇ではヤクルトレディの広告に出演した大泉 洋さん、「社会貢献」篇では「ヤクルト400」の広告でおなじみの渡辺 謙さんに加え、「いい毎日には、ヤクルトさんがいる」をメインテーマに、ヤクルトレディの魅力を様々な角度からお届けします。



【広告の目的】

「私もやってみたい」ヤクルトレディのさまざまな魅力を訴求

ヤクルトの独自の販売チャネルである「ヤクルトレディ」。新たに働きたいと思っている人から、現在ヤクルトレディとして働いている人まで、多くの女性に向けてヤクルトレディの魅力を伝えることを目的としています。具体的には小さいお子さんがいるお母さん世代に向けて、ヤクルトレディならではの家庭と仕事を両立する姿や、商品だけでなく笑顔も届ける存在としてヤクルトレディを描くなど、ヤクルトレディの魅力を様々な側面から訴求します。

【広告の特徴①】

ドラマ仕立てのCMでヤクルトレディの魅力を伝えます

第1弾CMの設定を引き継ぎ、第2弾CMから、建築事務所社長役として渡辺 謙さん（「社会貢献」篇）、藤井 美菜さんのご主人役として大泉 洋さん（「家庭と仕事」篇）が出演します。

第1弾同様、今回もドラマ仕立ての演出で、ヤクルトレディのターゲット層はもちろん、ご家族全員でお楽しみいただける内容になっています。

【広告の特徴②】

「ヤクルト」のテレビCMと連動した相乗効果

出演者の設定は6月6日からスタートしている「ヤクルト」の商品CMと連動しており、当社のテレビCM間でのイメージの相乗効果を狙います。

以上

■シリーズ各テーマ

「家庭と仕事」：家庭と仕事、どちらも大切にできることの魅力。

「社会貢献」：商品を届けるだけではない、ヤクルトレディの「社会貢献」。

■撮影中のエピソード

<「家庭と仕事」篇>

家族再会

パパ役の大泉さん、ママ役の藤井さんと、子役のしょうまくんは2年ぶりの再会。顔だちがきりっと凛々しくなり、時には撮影スタッフに「早く撮って！」と声をかけるほどすっかりお兄さんになったしょうまくんの成長ぶりに目を細めていました。藤井さんと1か月ぶりに再会したりこちゃんは、「また私のママになるんだ～」と喜んでいました。



<「社会貢献」篇>

自然な演技にとことんこだわる！

座っているだけでとにかく絵になるお二人ですが、一度演技を始めたらとことんこだわるんです。このシーンは、伊東工務店に打ち合わせに来た建築事務所社長で建築士の渡辺 謙さんという設定。渡辺さんは自然な流れにこだわり、打ち合わせの姿勢や、ご自身で考えたセリフを監督に提案していました。伊東さんは渡辺さんに褒められて返す「やるでしょ～！」の一言に実感を込めるため、うれしそうに笑ってみたり、力強くズバツと言ったり、様々なバリエーションで演じていました。



■出演者プロフィール

伊東四朗(いとう しろ)さん



1937年東京都生まれ。78歳。58年に軽演劇の石井均率いる劇団「笑う仲間」に参加し浅草松竹演芸場でデビュー。61年に三波伸介、戸塚睦夫と「ぐうたらトリオ」を結成。62年には「てんぷくトリオ」と改名。65年の日本テレビ『丸ちゃん!』でレギュラーに抜擢される。75年のTBS『笑って!笑って!60分』では小松政夫演じる「小松の親分さん」との絶妙な掛け合いを見せる。76年のテレビ朝日『みごろ!たべごろ!笑いごろ!!』では、「ベンジャミン伊東」の名で唄い踊ったバカバカしい「電線音頭」で世間を騒がす。83年にはNHK連続テレビ小説『おしん』のシリアスな父親役を演じる。以後も多数のテレビドラマ・映画・クイズ番組や歌番組の司会、そして、ラジオのパーソナリティーとしても多彩ぶりを発揮している。八面六臂の活躍の一方で、「笑い」にこだわった舞台を創りだしている。97年三宅裕司とコントライブ『いい加減にしてみました』(2002、2010にも上演)。04年には「伊東四朗一座旗揚げ解散公演」を上演。好評を博す。現在不定期ではあるが、年一回は舞台に出演。“喜劇役者としてのこだわり”を持ち続けている。

渡辺 謙(わたなべ けん)さん



1959年10月21日生まれ。新潟県出身。1983年デビュー。1987年NHK大河ドラマ『独眼竜政宗』に主演。他、数々のテレビドラマ、映画、舞台に出演。海外映画では『ラストサムライ』(2003年)で、第76回アカデミー賞・第61回ゴールデングローブ賞助演男優賞にノミネートされる。-最新作『追憶の森』(2016年)に出演。日本映画では『明日の記憶』(2006年)、『沈まぬ太陽』(2009年)で日本アカデミー賞最優秀主演男優賞受賞。テレビドラマでは、『刑事一代～平塚八兵衛の昭和事件史』(2009年・テレビ朝日)、『遠まわりの雨』(2010年・日本テレビ)、『愛・命～新宿歌舞伎町駆け込み寺』(2011年・テレビ朝日)、『負けて、勝つ～戦後を創った男・吉田茂』(2012年・NHK)、『白銀ジャック』に主演(2014年・テレビ朝日)、『おやじの背中』(2014年・TBS)などに主演。舞台は、『ホロウィッツとの対話』(三谷幸喜 作・演出)に主演。(2013年)『The King and I (王様と私)』(2015年3月12日～7月15日、2016年3月17日～4月17日 ニューヨークリンカーンセンター)に主演。第69回トニー賞ミュージカル部門主演男優賞にノミネート。映画『怒り』(監督:李相日)本年9月17日公開予定。

大泉 洋(おおいずみ よう)さん



1973年4月3日、北海道生まれ。

北海道の深夜番組「水曜どうでしょう」(HTB)でブレイク。

演劇ユニット“TEAM NACS”メンバーとして、舞台公演で大人気を博すほか、映画、TVドラマにも続々出演。

主な映画出演作に 「探偵はBARIにいる」シリーズ(11)(13)「しあわせのパン」(12)「清須会議」(13)「青天の霹靂」(14)「アイアムアヒーロー」(16)など。「駆込み女と駆出し男」(15)では第58回ブルーリボン賞主演男優賞を受賞。

TVドラマに「ハケンの品格」(07/NTV)「ラッキーセブン」(12/CX)「地の塩」(14/WOWOW)「まれ」(15/NHK)「真田丸」(16/NHK)など。

藤井美菜(ふじい みな)さん



2006年「シムソズ」(佐藤祐市監督)で映画デビューし、本格的に芸能活動を開始。同年には第88回全国高等学校野球選手権大会の朝日新聞のポスター及び「ビクター・甲子園ポスター」キャンペーンのイメージキャラクターに抜擢されるなどし、話題を集める。その後、ドラマ「ブラッディ・マンディ」シリーズ(TBS)、映画「武士の家計簿」(森田芳光監督)、「女子ズ」(福田雄一監督)など、映画、ドラマを中心に活躍。2012年、韓国でも活動を開始し、2013年、「富川国際ファンタスティック映画祭」広報大使、連続ドラマ出演など活動の幅を広げ、国際的にも高い人気を博している。2016年、出演映画『猟奇的な二番目の彼女(仮)』(チョ・グンシク監督)がアジア各国で公開、秋には、映画『DEATH NOTE Light up the NEW world』が公開予定。